

拡張現実(AR)技術による新たな地質体験アプリ 「ジオ・ビュー」の社会実装トライアル

産業技術総合研究所 地質調査総合センター 宮地良典

提案内容の詳細
はこちらから↓



提案の背景

- ・筑波山の自然やその成り立ち
- ・大地と人のつながりで、観光や産業など発展
- ・ジオパークの推進
- ・コロナウイルス感染拡大により、団体旅行の縮小

産総研による地質情報の整備



スマホの普及・AR技術の発達

ひとり(少人数)で楽しめる
筑波山観光アイテムが必要！

ジオ・ビューの提案

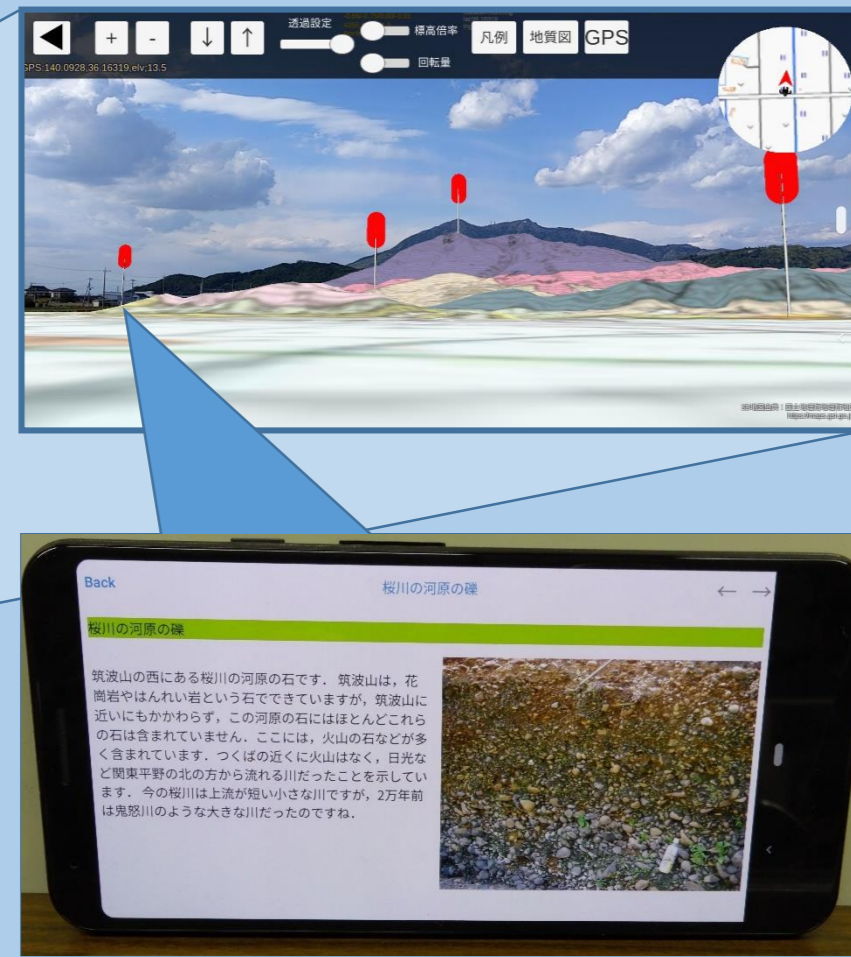
平成19年度試作版作成

トライアル概要

ジオ・ビュー提案



見た風景と大地の中身(地質)・そこでの見どころを紹介するシステムは産総研で試作済み



モニター調査

モニター(筑波に来た観光客など)にジオ・ビューを野外で実際に使ってもらって、使い勝手や、どういうコンテンツがあれば使いたくなるかについて意見をj得る。

つくば市の観光案内所や施設でモニター募集
・案内の掲示

モニター調査でやってもらうこと

- ・野外での動作確認
- ・使い勝手の評価
- ・どんなコンテンツが欲しいか調査

アプリ開発へのフィードバック

- ・コンテンツの充実(ほしい情報が簡単に手に入るようにする)
- ・現地までのわかりやすい案内
- ・安定した動作の確認

Withコロナ時代のつくばジオツアーに必要なアイテムを目指して

期待される効果・実現する未来社会

つくば発Withコロナ時代の新しい観光アイテムの確立

- ・ツアー旅行が縮小される中、少人数の観光が可能
- ・アプリで観光スポットや特産品の情報を得ることができる
- ・コンテンツ修正(新しいスポットや情報追加)が容易



「ああ、そうか！！」地質情報で感動と楽しみを！！
大地の情報を、いつでも、どこでも、必要なだけ手に取って使える。

「その手があったか！！」新たな利用のひらめきを！！
地域の特徴を観光、産業、技術革新の基盤に。